



香葉

第17号

通算48号

関東学院女子短期大学

香葉会

発行人 山口佳子

代表 〒236-8503

横浜市金沢区

六浦東1-50-1

直通・FAX 045-787-0678

E-mail: kouyoukai@nifty.com

URL http://koyokai.shonan.cc

天城山荘日帰りツアー

リトリートで訪れた天城山荘への日帰りバスツアーです。学生時代を思い出しながら山荘でランチをいただき、都会の喧騒を離れて静かな一時を過ごしましょう。お友達とご一緒にいかがですか！

- 日 時：2019年11月16日(土)
 - 集合時間：午前8時00分〔雨天決行〕
 - 集合場所：JR大船駅西口(観音口)
 - 参加費：6,000円 当日集金
 - 解散時間：午後7時頃 JR大船駅西口
 - 申込締切：9月30日(日)
 - 申込み方法：①～③いずれかの方法をお願いします。
 - ①FAX (045-787-0678) 下記申込書の内容を記入してください。
 - ②Eメール (kouyoukai@nifty.com)
 - ③葉書 下記申込書を切り取り葉書に貼付、または同じ内容を記入してください。
- ☆申し込まれた方にはこちらから確認葉書をご送付いたします。



ビーズ講習会〔講師 高石和枝(国4)〕

今年は今までにないシックな色合いのコンパクトを作ります。定員10名

- 日 時 10月26日(土)
13時30分～15時30分
- 場 所 香葉会室
- 持ち物 糸切り鋏、
必要な方は眼鏡
- 参加費 4,000円
- 締 切 10月11日(金)



カービング講習会〔講師 伊藤信江(家28)〕

専用の石鹸にリボンのギフトボックスを彫刻します。用具はこちらで準備します。定員15名

- 日 時 12月7日(土)
13時30分～15時30分
- 場 所 香葉会室
- 持ち物 エプロン
- 参加費 2,500円
- 締 切 11月22日(金)



※上記ビーズとカービングへの申し込みはFAX、Eメール、往復はがきでお願いいたします。

天城山荘日帰りツアー申込書

氏 名 _____

(旧姓) _____

整理番号(封筒の宛名下10桁の数字、不明の場合は空欄可)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

学 科 _____

卒業年・回 _____

住所〒 _____

当日連絡可能な携帯電話等 _____

葉書で申し込まれる際にこの申込み部分を切り取って貼付してください。(同じ内容を書いてくださっても大丈夫です)

第11回 香葉賞

香葉賞は短大を前身として改組した学部・学科のそれぞれ各1名、学業と学生生活に力を注いだことを評価された卒業生に授与しています。回数を重ね今年第11回目となりました。(2019/3/24)



「香葉とともに」原稿募集中!

詳細は5ページへ

会長挨拶

山口 佳子(画1回)



今年も卒業生と学び舎を繋ぐ、年一回発行の「香葉十七号」ができました。どの原稿も、

書いてくださった方のそれぞれの思いから発せられ、寄せられた文章です。大切に、輝く玉を糸に通すように、手練り寄せながら読んでいます。

手品をなさる先生を囲みながらの同窓会、卒業後、親御さんのホームに通いながら、ふと、気づいての先生やご家族との交流、静かな声を聴くような、亡き先生方への追悼文、目指した社会のなかでの活躍、そして今、関東学院で学ぶ学生の、地域共生を考えたプロジェクトでの、生き生きとした活動、横浜の関東学院として、未来の足場づくりを踏み出した、学院が目指す未来ビジョン。この香葉を編集していることで、大きな翼を持ち、お知らせをしながら大空を飛ばたいように思えて参りました。

人としてどう生きるかの端緒となった天城山荘でのリトリート。十一月に天城山荘へのバスツアーを企画しています。卒業後、活躍の場を広げている方たちの手による講習会では、ビーズ刺繍、石鹸カービングをお願いし、楽しい会話と共に作品が出来上がっていく喜びを感じています。教えてくださる方たちに感謝しています。

そろそろ短大最後の卒業生も、アラフォーといわれる年代に差し掛かっています。仕事のこと、育児のことなどを書いてみませんか。香葉紙面でもお伝えしていますように「香葉とともに」という短大卒業生による冊子を、作成準備中です。二〇二一年夏に発行の予定です。ぜひ沢山の皆様からの一言をお寄せください。

またホームページも充実しています。卒業生の活躍を最新情報として載せています。

年代を超えて、卒業生が縦の糸を紡いでいくことが香葉会に携わる者の願いです。

校訓「人になれ 奉仕せよ」の心を、皆様と共に抱いていたいと思います。

「KGU空き家プロジェクト」紹介

人間共生学部共生デザイン学科

准教授 兼子 朋也

KGU空き家プロジェクトは、二〇一四年に人間環境学部人間環境デザイン学科(当時)の学生が立ち上げたもので、現在、人間共生学部共生デザイン学科の有志学生約四〇名が参加しています。空き家を地域の資源と見なして、それに手を加えながら有効活用し、学生の視点で地域をより楽しく豊かにすることを目指すプロジェクトです。「インテリアや家具をDIYしてみたい」「地域活性化に興味がある」「イベントや地域交流がしてみたい」など、意欲旺盛な学生たちが大学を飛び出し現

KGU・KGC 卒業生編入学者選抜

関東学院女子短期大学卒業生のための「KGU・KGC 卒業生編入学者選抜(旧名称: 関東学院オーリーブ編入学者選抜)」を実施します。～入学金及び年間授業料半額免除で「学び直し」「再チャレンジ」を応援～
人生100年の時代…活躍し続けるためのプラットフォームを是非ご活用ください。
事前相談をお待ちしています。

●募集学部

国際文化学部(英語文化学科/比較文化学科)、社会学部(現代社会学科)、経済学部(経済学科)、経営学部(経営学科)、法学部(法学科/地域創生学科)、理工学部(全10コース)、建築・環境学部(建築・環境学科)、人間共生学部(コミュニケーション学科/共生デザイン学科)

●募集人数: 若干名

●募集年次: 2年次/3年次(編入学年次については事前にご相談ください)

●出願資格: 下記のすべてに該当する者
関東学院女子短期大学、関東学院大学(含大学院)を卒業した者 本学を専願とする者

●試験科目: 小論文、面接

●選考の流れ: 事前相談→出願(10/25~10/31必着)→試験11/23→合格発表11/29→入学手続(11/29~1/7)

★入学金(29万円)及び、年間授業料の半額を免除します。
※年間授業料は標準修業年限に該当する期間を最長とする

●お問い合わせ

関東学院大学 アドミッションズセンター
TEL: 045-786-7019

「関東学院女子短期大学記念奨学金」
2018年度報告

関東学院女子短期大学にて利用されていた奨学金を原資とする、関東学院女子短期大学記念奨学金の2018年度の利用状況について大学から報告をいただきました。

第1種(家計急変)	4名	2,665,500円
第2種(留学生)	1名	720,000円
第3種(学業優秀)	7名	700,000円
合計		4,085,500円

また、2017年度については12名に対して3,029,500円の給付を行ないましたが、利息等その他、短大奨学金の返還が続いているため、2017年度の収支は448,710円ほどの支出となりました。

2018年度も女子短期大学の流れを汲む人間環境学部、人間共生学部、栄養学部及び教育学部の4学部合同で奨学金を運用させていただいていることを合わせてご報告いたします。



活動拠点「おっばまのま」の整備風景

場で頑張っています。
横須賀市追浜を主な活動エリアとして、これまでに空き家をDIYでリノベーションして、学生シェアハウス（「びわの木テラス」二〇一五年）、プロジェクト活動拠点（「おっばまのま」二〇一六年）、ベトナム留学生シェアハウス（「バンマイおっぱま」二〇一七年）を誕生させるとともに、そこでイベントを行ってきました。追浜地域の町内会やNPOとも連携して、祭りや地域イベントにも継続して参加してきました。昨年度は、横須賀市と連携して、旧市営住宅を「芸術家村」に再生するプロジェクト、谷戸地域の空き家を地域交流拠点にするプロジェクトに関わりました。

りますし、横須賀地域でも認知されて、空き家の相談などが舞い込むようになってきました。また、共生デザイン学科の入学生のなかに、「空き家プロジェクトに参加したくて関東学院大学の共生デザイン学科を選んできました」という声が増えるようになってきました。活動が積み重なってくる中で、プロジェクトに対する注目度・期待度が高まっています。今後このプロジェクトを通して、地域に貢献しようとする人が成長しどんどん巣立っていくこと、手がけた物件や活動エリアがより楽しく豊かな場となることを期待しています。



「芸術家村」の整備（ペンキ塗りワークショップ）

※共生デザイン学科の教員、兼子、日高、水沼がサポート・アドバイスをしています。お問い合わせは、兼子 (neko@kanto-gakuin.ac.jp) まで

現在金沢八景キャンパスにある法学部の法学科と地域創生学科・経営学部経営学科・人間共生学部コミュニケーション学科が移転します。
新キャンパスは地下一階地上十七階のうち、地下一階から五階に一般利用もできるホール、ギャラリー、コワーキングスペース、デジタル図書室、ブックカフェ、スポーツ施設

「市民の知の交流拠点『オープンナレッジポート』の創設を挙げ、大学・企業・市民・起業家等、国内外の多様な主体が集うインキュベーション※拠点、様々な分野での産学連携、三〇〇〇名を超える学生が学ぶキャンパス、市民に開放された「知の交流」のための多様なスペースを提供する」としています。

新キャンパスはJR関内駅南口からすぐの「横浜市教育文化センター」の跡地に建設中です。
関東学院は事業コンセプトとして「市民の知の交流拠点『オープンナレッジポート』の創設を挙げ、大学・

関東学院大学は二〇二二年四月に、横浜市中区に横浜・関内キャンパスを新設すべく、現在工事が進んでいます。



横浜関内にキャンパスを新設

などが置かれる予定です。
横浜関内は現市庁舎の移転計画も進められており、大学が出来ることで昼間の人口を確保し、地域の活性化に貢献できると共に、ビジネス拠点でもある関内で社会人の学びの場としても期待されます。

関東学院大学も卒業生向けにリカレント教育の場を広く提供していきます。また、交通の便が非常に良いところですので、クラス会や親しい方との集まりにも気軽に利用でき、母校の発展を実感できるのではないかと思います。

地元横浜で活躍する卒業生がさらに学び、また大学と卒業生の連携も期待される横浜・関内キャンパスの新設。二〇二二年が待ち遠しい限りです。
※インキュベーション…事業の創出や創業を支援するサービスや活動元々は「孵化」の意

卒業生の子女・孫のための「オープン入学者選抜」

関東学院大学はその建学の精神を伝え、守っていくことを大切なことと捉え、女子短期大学・大学・大学院の卒業生の子女・孫にあたる人を対象とした入学者選抜を実施しています。

卒業生だからこそ分かる関東学院での学生生活を、子供や孫に伝えていきませんか！**出願期間は9月2日（月）から5日（木）必着**、選抜方法は小論文と面接で、**試験日は9月29日（日）**です。また入学金（29万円）が免除されます。詳細は関東学院大学アドミッションズセンター（045-786-7019）までお問い合わせください。



子どもの笑顔に囲まれて

和田 理香(幼16回)

平成二年三月に幼児教育科を卒業して川崎市に就職し、保育士として市内の保育園に勤務をしました。仕事なのに保護者からは「ありがたい」「子どもたちからは「だいすき」と沢山言ってもらえるこの仕事は生涯辞められないと年を追うごとに思っています。

平成二八年には初めて区役所に異動となり、保育園ではできない業務を体験できました。その一つが「保育士確保事業」です。担当となり川崎市の公営、民営の保育園で多くの方に働いていただくために、就職説明会を開催したり、保育園見学バスツアーで川崎市の魅力を伝えたりと様々な事業を行いました(保育士資格をお持ちの方の復職も応援してます!)、保育士不足の深刻さに

川崎市では、あらためて保育士・保育教諭を目指そう!という方の「again」を応援するプロジェクトを実施しています!
<http://www.city.kawasaki.jp/450/page/0000104792.html>
 (お問い合わせ)
 川崎市こども未来局子育て推進部事業調整・待機児童対策担当
 TEL 044-200-3705 / mail 45taiki@city.kawasaki.jp



ため息が出るほどでした。昨年度からはまた園長として保育園で勤務していますが、改めて「子どもの笑顔に囲まれる毎日の素晴らしいさ」を感じることに保育士不足に關しては深刻さを通して泣きたくなくなるほどです。今は保育の受け皿(数)だけを増やすのではなく「質」も求められています。日々の中から色々なことを吸収して体はもろるん心を育てているこの時期の保育は本当に重要で、責任の重さと共に大きなやりがいを感じています。

先日読んだ瀬尾まいこさんの「そしてバトンは渡された」という本にこんな一説がありました。「自分の明日と、自分よりたくさん可能性と未来を含んだ明日が、やってくるんだって。親になるって、未来が二倍以上になることだよって。明日が二つにできるなんて、すごいと思わない?」

保育園は何十人の子どもの未来に關われる本当に素晴らしい仕事です。以前年長さんに「先生も保育園で遊んでばかりいないで、たまには仕事に行きな!」と言われましたが今ならこう言います。「先生は世界で一番尊くて素晴らしい仕事をしているんだよ」と。

同窓会報告
**一九八八年度卒業
 幼児教育科Aクラス会報告**

佐藤 智子(幼14回)
 前回から二年ぶりの開催となるクラス会を平成終了間際の四月二〇日



エテルニテ棟 4階食堂 Olive にて

に行きました。約三〇年ぶりに訪れる母校での開催は、中田弘良先生からのご発案によるもので、香葉会にもお世話になりました。心からお礼を申し上げます。
 年度初めのため保育施設勤務の卒業生は保護者会等と重なり欠席される方もいらっしゃいましたが、中田先生と一三名で楽しいひと時を過ごしました。出欠確認時に最近の一番良い写真と先生へのメッセージを送ってもらい綴ったものを先生にお贈りし、欠席された方のご様子も知ることができました。次回は是非お会いしたいと思いました。

卒業生からの熱望で、先生に手品や、まるで生きているかのようにチューチュー動き回るハンカチねずみを実演して頂きました。実際保育現場で使っている人達も新技習得のため動画を撮影し、アドヴァイスをメモする等熱心に見入っていました。

近況報告では現在も保育関係の仕事をしている人、新しい分野で活躍している人の多忙で充実した毎日の様子を聞くことができました。子育てや介護にも前向きに取り組んでいる逞しさを感じお互いにパワーチャージ

ジできたのではないかと思われませんでした。

会場のエテルニテ棟食堂oliveは、明るく眺望も素晴らしく久しぶりの再会を盛り上げてくれました。初めて食べるグルテンフリーの名物ポテトや、学院マーク入りのクッキーも、オリーブや小松菜が入りヘルシーでとても美味しかったです。

会の終わりに、学内見学をさせて頂きました。懐かしいピアノのレッスン室は、ほとんど変わっておらず「ピアノ、頑張っていたよね!」と、思い出話に花が咲きました。四一五〇一教室では在学中にも撮った場所を記念撮影をしました。「三〇年ぶりとは思えない!あまり変わってないよね!(自分達?教室?)」と笑顔で教室を出ました。体育館跡地の広々とした栄養学部・看護学部の建物、随分増えた中庭のベンチに学生数の増加と母校の進化を実感し、再会を約束し帰路につきました。

最後になりましたが、関東学院大学の益々のご発展をお祈り申し上げます。

**関東学院大学
 グリークラブOB会**

会長 志澤 榮治

関東学院大学グリークラブは聖歌隊発足から昨年創立八十八周年、記念として「第七回チャペルコンサート」と「米寿の集い」を開催。チャペルコンサートはパイプオルガン伴奏の下グノーミサ曲、邦人組曲などを演奏、会場の方々はクリスマス

「香葉とともに」へのご執筆のお願い

短期大学が大学へと改組してから早いもので17年が経とうとしております。最後に卒業した短大生の皆さんは、卒業当初に思い描いていた未来を歩んでいるのでしょうか？また先輩諸姉の皆様もますますご活躍のことと思います。

3年前から「香葉」の紙面をお願いしておりますが、短大卒業生の集大成として「香葉とともに」という冊子を作成準備中です。広く卒業生の皆さんから原稿をお寄せいただきたく、詳細をお知らせいたします。ご協力よろしくお願い申し上げます。

記

- 1) 文字数 1,200～2,000文字程度
 - 2) 形式 横書き 可能な場合はワード等で作成。手書きの時は原稿用紙や便箋等。
 - 3) 写真等 関連するものがあれば1～2枚。差支えなければご本人様の顔写真1枚。可能な場合はデジタルデータ。スキャンするときは高解像度をお願いします。
 - 4) タイトル 自由に付けてください。
テーマの例：☆短大で学んだことを生かす／☆私の仕事／☆恩師への手紙／☆亡くなった短大時代の友人に向けて／☆卒業してからの私／☆子育て記 など自由です。
 - 5) 必須項目 氏名（及び旧姓）、卒業学科・専攻（該当する方）、卒業年・回数（分かる範囲で結構です）
- ※原稿及び写真は原則として返却いたしません。写真のみ返却希望の方はご一報ください。
※原稿等の送り先及びお問い合わせは
TEL/FAX：045-787-0678
E-mail：kouyoukai@nifty.com
郵送：〒236-8503 横浜市金沢区六浦東1-50-1
関東学院大学内 香葉会宛て

<香葉会事務取り扱い> 毎週 水曜日・金曜日 10:00～14:30



第7回チャペルコンサート風景

寿の集い」では指導頂いた故中居先生・故山根常任指揮者を偲びつつ、学生時代に歌った曲を、先輩諸兄と共に歌うことが出来ましたこと喜びしく感謝申し上げます。

キヤロルを共に歌い、大変好評を戴きました。出席OB諸氏には学びの窓であった八景キャンパスが現在大変素晴らしくなったことを確認して戴きました。「米

チャペルコンサート開催にあたり、ご支援賜りました関東学院宗教学センター教職員、各学部、学生課、校友課、燦葉会、香葉会等々のみなさまに改めて御礼申し上げます。OB会として、現役時代の演奏会、演奏旅行のポスター、プログラム、当時の写真等、コンクールの優勝カップ・盾・メダル・賞状をまたOB会活動（東日本大震災支援、演奏会、学内活動、近隣地域への演奏奉仕、OB会総会議事録など）をまとめ関東学院図書館へ寄贈いたしました。関東学院大学の貴重な資料として保管頂き、学院から適時公開展示したいとの事でした。資料提供された諸先輩方有難うございました。ま

関東学院古本募金について

た、本年十一月三十日(土)待降節(アドベント)に八景キャンパスに於いて「第八回チャペルコンサート」を開催します。詳細はグリーククラブOB会のホームページを参照ください。ホームページは関東学院大学グリーククラブOB会で検索できます。末筆ながら香葉会のさらなる充実した交わりがありますよう心から祈念いたします。

私は昨年やっと念願の(?)古本募金をしました。『環境に優しく、少しい良いこと』が出来たと思えました。少きと「古本募金が気になる」方は多いと思います。香葉会としても学院の様々な取り組みに協力しようと、今回みなさんへお勧めするため原稿を書きました。以下準備と注意事項です。

- ① 出せるのはISBNのバーコードのついた本のみ
 - ② 五冊以上は出す(送料が無料になる)
 - ③ 寄付金控除の対象になる(事前に要申出)
 - ④ 学院広報誌等への匿名希望も可
 - ⑤ ダンボールは自分で用意
 - ⑥ 申し込みはWEBまたは電話
 - ⑦ 集荷希望に合わせて宅配業者さん
 - ⑧ 提携会社バリエーションブックスさんから受取と買取金額の通知↓学院へ自動的に寄付
- 以上です。家にある本を整理したいと思う方はぜひご活用ください。また、「ふるさと関東学院募金」も

魅力的です。卒業生のお店等の商品が返礼品として選べ、学院で学ぶこどもたちも応援できる寄付システムです。詳細は香葉会ホームページでもご紹介しています。(香葉会C)

関東学院古本募金
<http://www.furuhon-bokin.jp/kanto-gakuin/>
ふるさと関東学院募金
<http://furusato-kanto.jp/>
 関東学院企画部募金・校友課
 TEL 045-786-2685
 bokin@kanto-gakuin.ac.jp

散策「みなと濱めぐり」に参加して

福水(船津)由美子(英22回)

アドヴェント(待降節)を翌日から控えた十二月一日(土)、横浜の歴史的建造物見学会は日本で最初のプロテスタント教会である「横浜海岸教会」から始まりました。庭に建てられた記念碑には旧約聖書イザヤ書三十二章十五節が刻まれており、その苔むした様はこの教会が一八七二年の創立であり、先人たちの多くの祈りと信仰が積み重ねられていることを実感させるものでした。関東大震災後に建てられた現在の教会堂は、当時の教会員で宮内省内匠寮に勤務していた雪野元吉氏の設計により、関東学院大学工学部建築学科でかつて講師をされ、関東学院葉山セミナーハウスの設計をされた雪野潔先生はご子息に当たります。改修工事を数

前年度企画報告

年前に終えましたが、「横浜市の認定歴史的建造物として、元の姿を残すことができたことは実に意義深い！」と、当日のガイド役をして下さった元短大講師で建築家でありクリスチャンでもある精木勇先生からの説明がありました。

その後、神奈川県庁本庁舎（キングの塔）、横浜税関本館庁舎（クイーンの塔）、横浜市開港記念館（ジャックの塔）のいわゆる『横浜三塔』全てを見ることが出来る場所に来ました。県庁は改修中でしたが、精木先生は「工事のために幕で全体が覆われている姿、これもアートなのです！」と熱く語られ、八十代とは到底お見受けできないそのお話しぶりとは若々しい感性に圧倒されました。先生とはこの後、ちょうど日本で展示されているムンクの『叫び』に関する講演も依頼されていらつしやるとのことです。ここで別れをし、その後、シルクセンター、横浜貿易協会ビル、海洋会館、山下臨海線プロムナードを通って解散地の「象の鼻」テラスに向かい、その日一緒にさせて頂いた先輩方のお話を少しの時間でしたが何うことができました。

その中で、松野（旧高橋）トシ子さんのお話に変感銘を受けました。私は昭和四十八年三月の卒業ですが、松野さんは昭和三十一年に卒業されてから大学の経済学部キリスト教研究所でも学ばれたそうです。後に塾を開き、子どもたちに勉強を教える中で家庭的に恵まれない外国人を含む三、四人のお子さんと一緒に見るように



横浜海岸教会前で

なったとのこと。「生きがい」を持ち澆刺としたその笑顔には、「人になれ奉仕せよ」を校訓とする「関東学院スピリット」が生きて働いていました。そしてまさに一四七年前に海岸教会でJ・バラ宣教師が語って記念碑に刻まれたイザヤ書の「私たちの上に主の霊が注がれる時、荒野野は園となり森となる」を思い起こしました。日本各地に、また世界中に散らばっている香葉会のメンバーの足元から、園や森が広がっていく働きがなされているのだと心躍る思いでした。

【みなと濱めぐり】に参加したこの日は、有名な建造物を見ただけでなく、精木先生や先輩方との関東学院を共通項とした年代を超えた交わりを通して、多くの学びと感動を得た素晴らしい一日となりました。

前年度企画報告

カービング講習会を通して

伊藤 信江(家28回)

懐かしの母校は自転車で行かれる程近いのに、卒業以来周りから眺めるだけで過ごしておりましたが、ご

縁を頂き久しぶりにお邪魔いたしました。かれこれ四十年も前にはこの建物で講義をうけたな。ここにおしゃれな中庭が。まあ！ここには寮なるものがあつて、まるで浦島太郎のようで、そんな事を思いながらカービングの講座のお部屋へ！皆様初めてにもかかわらず温かくお迎えして頂き、ありがとうございます。

今回のソーブカービングは、香水瓶のような作品を作って頂きました。皆様初めてとは思えないナイフ裁きでびっくりいたしました。ステキな作品に出来上がり、お疲れ様でした。

ちよつと私のカービングとの出会いと、レッスンをするにあたって思うことをお話させていただきます。

カービングとの出会いは十七年前、テレビの番組でタイから帰国された先生が大根で薔薇を、いとも簡単に作り上げたのを見たその時から、カービングに取りつかれてしまいました。未だに取りつかれております。

ナイフ一本で果物、野菜、石鹸やロウソクが、まるで魔法を掛けるように、ステキになるのがカービングの魅力だと思っています。

私がカービングのレッスンをしようと思ったきっかけがございます。

たまたま道ばたで、親子さんのちよつとしたやり取りで、お母様がお子さんに理不尽なあたり方をしていた所に出くわしてしまい、何か私にも皆さんを楽しい思いにさせられないかなと思ひ、カービングを伝えようと思ひ立ちました。リングにお顔を彫つ



前年度企画報告

ビーズ講習会に参加して

井上 啓子(家26回)

今回の作品は花のプローチ。秋の講習会ですが、少し先の春をイメージして明るい色合いのプローチです。講師で卒業生の高石先生が材料と作り方レシピを参加者の人数分、事前に用意してくだっており、初参加の私は目を皿のようにしてビーズを追

徳永先生の思い出

石渡 朝子(英30回)

います。
高石先生の言われるようにやっているのですが、何か違う…汗。でも高石先生は一人一人丁寧に教えてくださいます。針を刺す向きが違ったのか！思わず声に出てしまいました。先生が用意してくださったビーズはどれも綺麗で見たことのない形をしています。長年ビーズ刺繍を極めた先生なればこそ、手に入るものとのこと。これだけでも得をした気分です。

徳永先生は、短大に入った時のアドバイザーの先生でした。大学では「担任の先生」はもういらつしやらないのが普通なのに「困ったことがあったら何でも相談して」と言われ、ほっと安心したことをよく覚えています。先生は、ロマンチストで、いつも夢見る少年のようでした。そして声を荒げたことなど一度もない、優しい先生でした。

手を動かしながらも情報交換したり、先生のツツコミに思わず大声で笑ったりと充実した講習会でした。集中して何かを作る、という時間はとても新鮮で達成感がありました。高石先生そして参加者の皆さん、楽しい時間をありがとうございました。

追悼 村上 顕先生 徳永 透先生

遠山・岩井・佐藤・竹園 国24回

村上先生には学生時代、合唱部の顧問として大変お世話になりました。香葉会の会報で訃報を知り、驚いております。

先生からは「合唱の際にお互いの声をよく聴き、合わせるように」と言われたものです。そして、皆で力を合わせて一つの作品を作りあげる喜びを教わりました。沢山の幸せをもらいながら、何もお返しできていないことを申し訳なく思っております。

どうぞ、安らかに眠りください。

以後四〇年近くずっと年賀状を送らせて頂いていましたが、二、三年前、父が入っていた老人ホームの住所が、先生のご住所と似ていることに気が付きました。グーグルで見つかり！何と先生のお家の前を通って、ホームへ行ってたのです。そこで先生にお電話して遊びに行かせて頂きました。もうお一人ではお出かけになれなくなつていらつしやいましたが、優しい雰囲気は、全く変わっていらつしやいませんでした。そして一番印象的だったことは、先生の奥様がまるで「奥様のお手本」のような心優しい方でいらつしやることでした。言葉の節々に先生への愛情や尊敬の念が感じられるのです。先生もまた奥様を指して「この人のお陰で僕は生きてるの。」と。前号の香葉で先生が亡くなられたことを知って驚き、とても悲しかったです。でも、世間では結婚して何年も経てば、相手への不満が次々と出てくる夫婦も珍しくない中、徳永先生ご夫妻はお互いにいたわり合い大

切に思い合つていらつしやいました。そのことを存じ上げている私は少し救われた気持ちです。先生は間違いなくお幸せでいらしたのですから！そして、お優しい心でずっと見守つて下さった徳永先生に感謝の気持ちでいっぱいです。
先生のご冥福を心からお祈りしております。



先生方の訃報に思うこと

井上 みずほ(英30回)

「香葉」が届いて懐かしいと思うと同時に、お世話になった先生方の訃報を知りガツカリする。私はあまり勉強熱心な学生ではなかったのですが、英文科の徳永透先生には何の講義を受けていたのか、今となっては全く思い出せない。卒業して四十年近くたっているのに記憶はおぼろげになつていくばかりだ。でも徳永先生には深い知性を感じられ、品のある素敵な紳士であったことだけは覚えている。幼教の村上顕先生は運動部の関係で何かの集いで一緒に過ごさせて頂いたことがある。バドミントン部の顧問をされていて、いつも優しい笑顔の先生だった。

考えてみるとあの頃の先生方方も高齢になつてしまった。私が所属していた卓球部の顧問だった国文科の千葉義孝先生や、体育実技でお世話になつた田山美智子先生も、もう

天に召されてしまった。
試合に出場する為の申込書を頂きに千葉先生のお宅に伺つたことがあった。書齋で「これらは僕が書いた本だよ。」と教えて下さった。沢山の著書があった。千葉先生は自宅でも毎日、熱心に勉強されていることをその時知つた。
また、田山先生のお宅にも伺つたことがあった。「チビちゃん、人から頂いた〇〇があるんだけどウチでは食べないから、あなた持って行く？」と言つて下さつたので、帰宅される先生について行つた。学校では先生でも家に帰れば奥さんであり、十才の娘のママに戻つた。「私はどんなに疲れていても後片付けをしないと寝ないんだよ。」とおつしやつたので驚いた。
千葉先生も田山先生も自分に厳しいお人柄だったようだ。学生を大切に思つて下さる先生方に恵まれて幸せな二年間だったと思う。そんな先生方の訃報にいつも寂しさを覚え、そして感謝の気持ちでいっぱいになる。

燦葉会支部総会活動のご案内

- 西湘小田原支部 九月二十八日(土) 一四時 小田原市民会館
 - 湘南支部 十月五日(日) 十一時三十分 藤沢商工会議所
 - 県央のつどい 十一月二四日(日) 十二時 厚木アーバンホテル
- 詳細は香葉会事務局にお問い合わせください。香葉会ホームページもご覧ください。

計 報

元国文科教授 糸川光樹先生が一月に、元幼児教育科教授 真坂孝二先生が三月にご逝去されました。



故 真坂孝二先生



故 糸川光樹先生

糸川先生も真坂先生も国文科、幼児教育科の草創期に短大を支え、ご活躍されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。両先生の思い出を香葉会へお寄せください。

学院史資料・情報提供のお願い

卒業生、修了生、元教職員の皆さまに学院に係る資料・情報の寄贈をお願いしております。

近年はデジタルアーカイブ構築のため、データを収集する目的で皆さまより資料をお借りして電子データを作成し、データ登録する業務も行っております。お借りした資料は処理が終わりましたら返却させていただきます。

お手元にあります学生時代のお写真や学院のパンフレット、式典、学祭の配布物など、大切な記録かと思いますが、学院史資料の収集にご協力いただけますよう、お願いいたします。資料のご提供については以下にご連絡ください。

Tel : 045-786-7066 Fax : 045-786-2932

E-Mail : archives@kanto-gakuin.ac.jp 学院史資料室

関東学院関連行事

下記の関東学院関連行事は卒業生の参加を大歓迎しています。是非お越しください。

- 今年度の日程
・関東学院創立記念式典 10月12日(土)
・シェイクスピア英語劇「十二夜」12月6日(金)、7日(土) 神奈川県民共済みらいホール
・関東学院クリスマスコンサート 12月12日(木) 横浜みなとみらい大ホール、入場無料(要入場券)
詳細は電話またはFAXで香葉会にお問い合わせください。

編集後記

盛夏の花々が元気に咲き季節になりました。そして「香葉」の「時」になりました。今年も多く卒業生の皆様や教職員の方々から原稿を頂きました。それぞれ皆様の懐かしい学院生活の思い出など、学院への愛を感じるものばかりで編集委員一同嬉しく思いました。原稿のご執筆を快くご承諾くださった皆様にお礼申し上げます。ありがとうございます。これからも香葉会は皆様と共に歩んで行きたいと思

香葉会 年会費・賛助金 納入者名簿

皆様のご厚意により、平成30年度(平成30年4月1日～平成31年3月31日)のご寄付は628,000円となりました。香葉会の運営費の一部として有効に使わせて頂きます。皆様のご協力に感謝します。今後ともよろしく願います。(敬称略・順不同)

Table with columns for member names and categories (Faculty, Family, Cultural, Special). Lists names of donors and their respective amounts.

関東学院女子短期大学 香葉会

Table with columns for Income (収入の部) and Expenses (支出の部) for the 2018 and 2019 fiscal years. Includes items like annual fees, printing, and postage.

平成十五年三月の卒業生の会費を最後に、香葉会の会計は皆様の年会費・賛助金をたよりに頑張っています。年間にかかる費用の多くは、機関紙『香葉』の発送にかかります。年会費・賛助金に是非、ご協力をお願い致します。